

## うつくしま国際協力大使：

### 2016年2次隊 岩田 浩司 現地・活動報告③

#### ● マラウイの携帯電話事情について

今日、日本では携帯電話やスマートフォンが普及し、皆さんの生活には欠かせないものとなっています。マラウイでも同じように携帯電話が普及し、今や多くの人々が日常生活で使用しています。マラウイではスマートフォンの端末は値段が高いため、どちらかといえば、俗にいうガラケー携帯を所有している人が多いようです。端末の多くが、中国やインドから輸入されてきたものが多く見られます。

日本で携帯電話会社といえば、Docomo、Softbank、au といった大きな会社が思い浮かぶとおもいますが、マラウイでは Airtel と TNM という大きな携帯電話会社があります。この二つの会社が主にマラウイ全土の通信エリアをカバーしています。

マラウイで携帯の通話料金を支払う場合は、日本のような口座引き落としやコンビニ決済といった「後払い式」と違って、「プリペイド式（前払い）」で行われます。「基本使用料金」といった毎月かかる固定料金はありません。支払い手順としては、最初に下の写真に記載しているプリペイドカードをカード販売所や代理店で購入します。次に当たりくじのように銀色のスクラッチを削り、「ピンコード」を確認します。そして、ピンコードを携帯で入力し通話します。すると携帯電話の中にある Sim カードの中に通話料金がチャージされます。この「プリペイド式」はチャージをした金額分ではしか通話ができないので、携帯電話の無駄遣いをしなくてすむメリットがあります。

国によって携帯電話事情はそれぞれ異なります。例えばケニアのように、日常的に国民が携帯電話の通信を使って、ネットバンクのように電子マネーのやり取りをしている国もあります。もし、アフリカへ行く機会がありましたら、是非その国の「携帯電話事情」を調べてみて下さい。面白い発見が見つかるかもしれません。

